



《R2～R4年度期》

新下関/勝山地区まちづくり活動計画

【R2改定版】

勝山地区まちづくり協議会

(協力:ふるさと勝山のあすをつくる会)

1 まちづくり活動 3 年計画の概要

(1) 地域のまちづくり行動計画

この計画は、下関市の「まちづくりの理念/将来ビジョン」を共有し、住民自らが地域の特性を活かしたまちづくりを実践していく行動計画です。ここ3年間で積極的に取り組む具体的まちづくり活動(事業/施策)を施策体系(分野)別に示しています。いわば、長期的未来ビジョンの実現に向けての「中期(3 年)間毎のステップ」を表しています。

こうした様々な分野での個々、具体的なまちづくりの企画提案は、ボランティア参加する市民/住民の「地域のお役に立ちたい」との思いや「一緒に取り組みましょう」という連帯の呼びかけそのものです。まちづくり協議会には、それらを吸い上げ「事業/施策」に組立て、より円滑、効果的に推進するための人・情報ネットワークの構築とその活動財源の調達と公正な配分が求められているのです。

(参考:資料1「まちづくりにおける行政と住民の係り」)

(2) まちづくり協議会の「マネジメント・ツール」

各まちづくり活動(事業/施策)は、毎月の運営委員会において、或いは、各個別事業の総括/決算の時点や毎年の事業計画/予算編成等の時期に事業精査が行われ、その効果や効率性の検証・見直しが必要です。つまり、この計画は、まちづくり協議会の役員トップや運営委員会が事業全体の進行管理・調整を行い、常に健全な財政運営のもとに柔軟で効果的な活動展開を図っていくための「マネジメント・ツール」です。

そこで、中期計画を常に生きた状態に保つため、毎年度の事業計画/予算編成の度に先の 3 年間を見通して改定するローリング方式の計画としています。

こうした協議会運営があってはじめて、市民のまちづくり活動を支援することが出来るのです。

(参考:資料2「まちづくり協議会と PDCA マネジメント」)

(3) まちづくり活動の財政見直し

この計画書に掲載される「中期財政見直し」を基に活動財源の確保と事業予算の適正執行に努め協議会財政の健全性を保つとともに、3年間を見通した事業/施策等の「選択と集中」を図り計画的・効率的なまちづくり活動を展開していきます。

(参考)まちづくり協議会の役割としての「計画の立案」

「住民自治によるまちづくり条例」(第6条)では、地域の「課題解決や地域活性化の方策とまちづくり計画の立案」は、まちづくりをより円滑かつ効果的に行うネットワークの構築」とともに協議会の重要な役割とされています。

下関市住民自治によるまちづくりの推進に関する条例

(協議会の役割)

第6条 協議会は、第1条の目的を達成するために、次に掲げる事項を実施するよう努めるものとする。

- (1) 市民等が住民自治によるまちづくりをより円滑かつ効果的に行うことができるよう、それぞれの活動内容を理解し情報を共有するためのネットワークの構築を図ること。
- (2) 地区の身近な課題の解決又は地域活性化のための方策及びまちづくり計画を立案するとともに、規則で定める活動を行うこと。

2 新下関/勝山地区のまちづくり理念(目標、方向性)

私たちのまちづくり活動は行政との役割分担と協働を図りながらでなければ進めることはできません。そこで、「第2次総合計画 基本構想 まちづくりの基本理念」を援用し、次のように「新下関/勝山地区のまちづくり活動の基調テーマ」を定めています。

新下関/勝山地区のまちづくり活動の基調テーマ

新下関/勝山地区ならではの、“暮らしの幸せを実感できるまち”へ！
「新下関/勝山地区」は、

- ①下関市の・新しい都市拠点としての都市機能を備え、
- ②人との共生を図る「里山/里地」の身近な自然に恵まれ、
- ③古代から近代に至る歴史文化遺産が受け継がれ、さらに、
- ④地域住民による「勝山三大祭」が4半世紀以上も催行されています。

(a)これら地域の資源と人財を活かし、(b)地域の魅力の発信と交流を図ることにより、

暮らしの幸せをより実感し、愛着を深め、知りたい、行きたい、
住みたい魅力あるまちの実現を目指します！！

3 個別まちづくり活動の目指すところ(「地域ビジョン/将来像」)

まちづくり活動の目指す地域の「将来像/ビジョン」です。分野別の活動の目標/方向性を思い描き表わしたものです。

「第2次総合計画基本構想 まちづくりの将来像」をそのまま準用し、新下関/勝山地区のまちづくりにおける“八つの活動目標”として地域住民の意識の共有化を図ります。

- § 1. 『魅力あふれる人・文化を育み、いきいきと交流するまち』へ！
- § 2. 『多彩な人が輝き、活力ある産業が振興するまち』へ！
- § 3. 『みんながともに学び、ともに楽しむ、人を育てるまち』へ！
- § 4. 『美しく潤いのある自然や町並みと人が共生するまち』へ！
- § 5. 『効率的で活動しやすい都市機能を備えるまち』へ！
- § 6. 『誰もが安全で安心して暮らせるまち』へ！
- § 7. 『人と人とが支え合う 誰もが健やかで笑顔があふれるまち』へ！
- § 8. 『人のつながりを大切にし、地域の力が活きるまち』へ！

(参考:資料3「まちづくりの将来像」)

まちづくり活動の目指すところの「地域ビジョン/将来像」が行政と同一基調であっても、それぞれの地域特性を活かし「新下関/勝山地区」ならではのまちづくりが展開され、結果として”暮らす幸せの実感”が高まれば良いのです。むしろ、行政と協働を図り、同一基調のまちづくり活動を進める方が望ましいと考えています。

4 個別まちづくり活動の推進体制

各まちづくり活動(事業/施策)は、ボランティア参加する市民/住民の「地域のために」との思いと連帯のもとに企画提案ごとにプロジェクト・チームをつくり、そこでの協議により詳細業務等を分掌する担当班(者)を決め、それぞれの工程表(スケジュール)に沿って進められるのが一般的ですが、本協議会では、規約第29条により「部会」による活動推進体制をとっています。

＜提言＞

まちづくり協議会は任意のボランティア団体であり、部会長が行政機構や企業体等のように業務遂行の指揮監督をすることには無理に思えます。また、同じ部員メンバーからそれを期待されても困ります。部会長個人の負担が大きすぎます。将来は、運営委員会のもとに各プロジェクトチームがおかれ、市行政とともに、事業/施策の実現に向けて直接的に各チームを財政的、人的サポートする「事業本部制」に改めていくことが望まれます。

勝山地区まちづくり協議会規約

(部会の設置)

第29条 協議会に次に掲げる部会を置き、それぞれ当該各号に定める活動を行う。

- (1)地域活性化部会 地域活性化及び広報に関する活動
- (2)教育文化部会 教育及び文化振興に関する活動
- (3)健康福祉部会 健康及び福祉の増進に関する活動
- (4)居住環境部会 自然及び社会環境の保全に関する活動
- (5)安全安心部会 防犯、防災及び交通安全に関する活動

各部会の活動と前出の「地域ビジョン/将来像」との対応関係を整理しておきます。

(1)地域活性化部会 地域活性化及び広報に関する活動

§2. 『多彩な人が輝き、活力ある産業が振興するまち』へ！

- 1) 農林業の振興 2) 商工業の振興

§5. 『効率的で活動しやすい都市機能を備えるまち』へ！

- 1) 地域特性を活かす市街地整備を考える 2) 地域の公共交通を考える 3) 地域の道路・公園・緑地を考える 4) 地域情報システムを考える

(2)教育文化部会 教育及び文化振興に関する活動

§1. 『魅力あふれる人・文化を育み、いきいきと交流するまち』へ！

- 1) 文化・スポーツの振興 2) 地域の連携・交流の推進 3) 地域の価値・魅力向上(PR/情報発信)

§3. 『みんながともに学び、ともに楽しむ、人を育てるまち』へ！

- 1) 子ども・子育て支援 2) 一人ひとりの生きる力の育成 3) 学校教育の充実 4) 生涯を通じた学ぶ機会の拡充 5) 人権啓発活動の参加拡大

(3)健康福祉部会 健康及び福祉の増進に関する活動

§ 7. 『人と人とが支え合う 誰もが健やかで笑顔があふれるまち』へ！

- 1) 保健・医療の充実 2) 地域福祉の充実

(4)居住環境部会 自然及び社会環境の保全に関する活動

§ 4. 『美しく潤いのある自然や町並みと人が共生するまち』へ！

- 1) 自然環境の復元保全 2) 良好な景観の形成 3) 廃棄物処理の推進 4) 良好な住環境の創造保全

(5)安全安心部会 防犯、防災及び交通安全に関する活動

§ 6. 『誰もが安全で安心して暮らせるまち』へ！

- 1) 生活安全の推進 2) 公衆衛生の充実

(6)各部共通(まちづくり協議会事務局)

§ 8. 『人のつながりを大切に、地域の力が活きるまち』へ！

- 1) 住民主体/民間主導のまちづくりの推進 2) 市民協働参画の推進
3) 市民活動支援システムの活用と研究

5 事業/施策体系別まちづくり活動計画(一覧)/中期財政見通し

【別紙1,2「地域ビジョン/将来像別まちづくり活動計画・中期財政見通し」のとおりです。

令和2年度からの今後3年間の事業/施策等の取組みの見通しを、「地域ビジョン/将来像」(活動部会別)に系化して整理したものです。この計画書の主要部です。

6 個別事業計画(参考例)

個々、具体の事業/施策等の事蹟は、毎年度の「事業計画/予算編成」、「事業報告/決算」や「中期計画改定」等の参考資料として各プロジェクトチームで作成され最終的には事務局に保管/保存されます。

ここでは、令和2年度の事業/施策(別紙2)の中から、一例として「§2-1 体験交流農園「井田の里」開設・運営支援プロジェクト」(H29年度からの継続事業)を取り上げて紹介します。

各事業/施策等については、進捗状況/中間決算の調査時点や年度末の決算/翌年度予算編成時に(継続事業の場合)、又は、単独事業であれば事業終了から翌月(遅くても翌々月)の運営委員会までに、「【別紙3】個別事業計画/報告総括シート」と「別紙4」事業経費内訳/精算書(見込)」が作成され提出されます。そして、それらを基に運営委員会等において、「PDCAサイクル」手法における[分析/評価= Check]と[見直し・改善/改革]の提言等がなされ、それが[実践=Act]につながられていきます。

(参考:資料2「まちづくり協議会とPDCAサイクル」)

また、新規の事業/施策等も継続事業も前年の秋頃から企画提案の募集が行われ、「【別紙5】まちづくり活動「施策」等調査/提案票」と「【別紙6】事業経費内訳/見積書」が提案グループによって作成され提出され

ます。これも運営委員会等の検討、各部会との協議を経て、年度末の予算編成により予算の配分や部会の
ワクを超えた担当スタッフの応援派遣等の措置（協議会の役割）がとられます。その際には、「【別紙7】「井田
の里」運営支援事業（Prj）体制図」や「【別紙8】「井田の里」運営支援 Prj.総括工程表」等が必要です。

（参考：資料1「まちづくりにおける行政と住民の係り」）

これらは、事業/施策等の進行管理の過程でたびたび修正が加えられます。また、プロジェクト・チーム
内の活動班（WG）ごとにより詳細の工程表（スケジュール）が作成され、組織内外での協議・折衝に活用されま
す。さらに、プロジェクトの遂行に当たっては財務管理のための「予算執行管理簿（PC システム）」を必ず備
え記帳していくことも大切なことです。

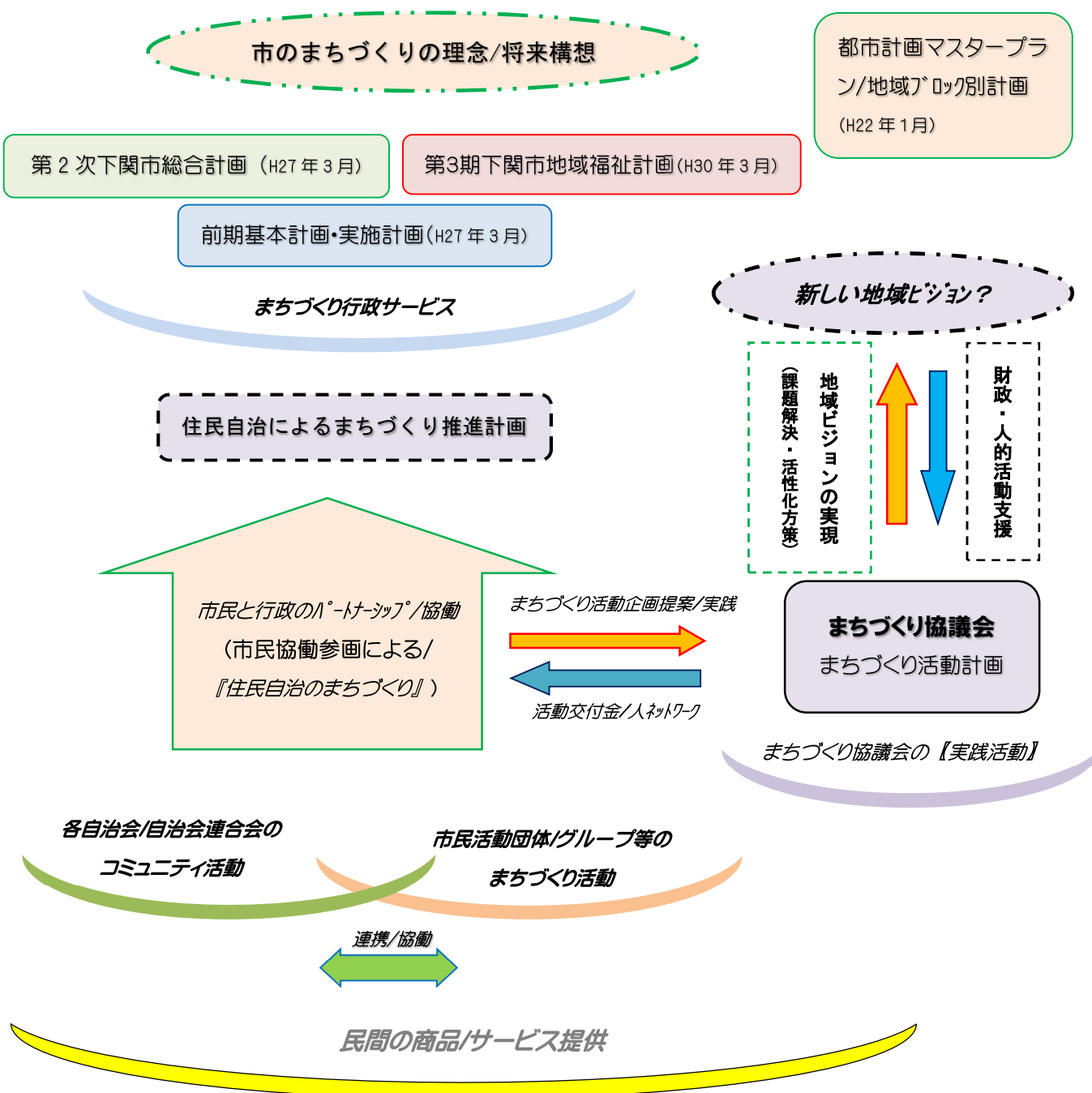
これら帳票等のモデル様式は協議会のパソコン（PC）に収められていますのでメンバーの誰もが利用で
きます。

----- × ㊦ -----

(参考)

資料1 まちづくりにおける行政と住民の係り

《「まちづくり協議会」の役割》

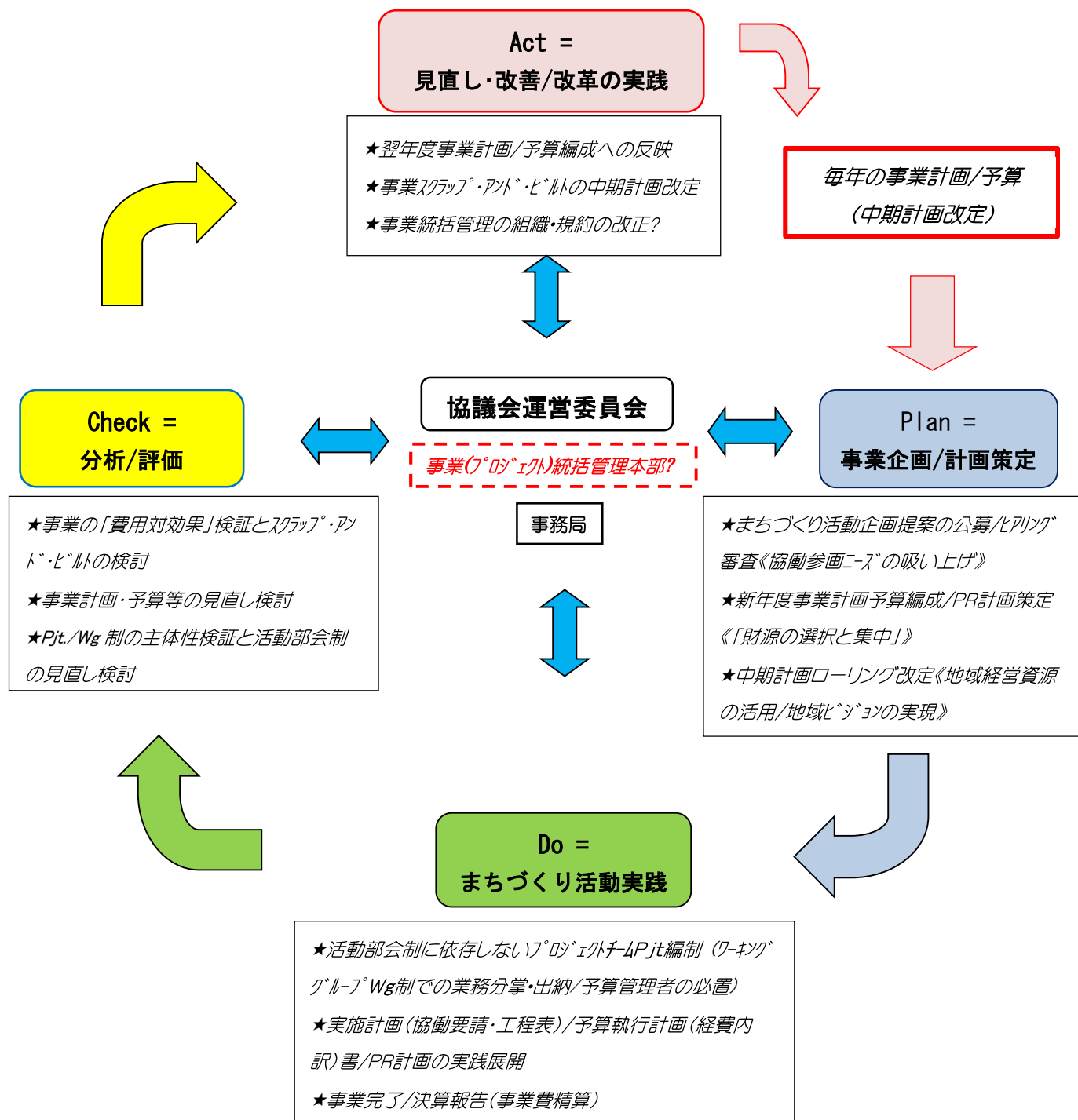


(地域個性づくり研究所)

(参考)

資料2 まちづくり協議会と「PDCA マネジメント」

《協議会の運営イメージ》



(地域個性づくり研究所)

(参考)

資料3【第2次総合計画 基本構想 まちづくりの将来像】

§ 1. 魅力あふれる人・文化を育み、いきいきと交流するまち

歴史や伝統・芸術・スポーツなどを通して、地域への誇りや愛着を持つ取り組みを進め、市民の文化やスポーツ活動を振興することにより、心豊かな市民生活の充実を図ります。

さらに、その豊かさをみんなが共有して都市の魅力を高め、情報発信することにより、多くの人が行き交い、交流する拠点都市づくりを進めます。

観光交流については、市民一人ひとりのおもてなしの心の醸成や観光客の受け入れ態勢の強化をはじめ、多様な地域資源を活用し、戦略的なプロモーションを推進します。

また、国際化に対応できる人材の育成を図るとともに、姉妹・友好都市との交流を核とした国際交流を促進します。

§ 2. 多彩な人が輝き、活力ある産業が振興するまち

産業振興は人材が基になることを踏まえ、様々な人材育成や交流の機会が充実するまちを目指し、国内外を視野に入れた戦略的な産業振興を進めます。

農林水産業については、「下関」という全国的に知られた知名度を活かしながら、付加価値を高め、担い手の育成や生産性の向上を図ります。

商工業については、戦略的かつ積極的な企業誘致に取り組むとともに、地場産業の育成支援をはじめ、新産業の創出促進等により地元企業の内発展開を促進します。 また、商店街活性化のための取り組みや商店街を担う人づくりを支援し、商業の振興を図ります。

さらに人口減少、激化する国際競争の中で、若者や高齢者が能力を十分に発揮できるような就業機会の確保に努めます。

§ 3. みんながともに学び、ともに楽しむ、人を育てるまち

社会がますます複雑化・多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化する中で、子どもたちを健やかに育むためには、地域や社会が家庭に寄り添い、相互に連携し、子どもの育成に取り組むことが一層重要となっています。

地域ぐるみで子どもや子育て家庭をサポートする体制を構築するなど、すべての子どもが健やかに成長する社会環境の整備に努め、妊娠・出産期からの切れ目のない総合的な子ども・子育て支援を進めます。

学校教育については、子どもたち一人ひとりに「生きる力」（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を養うために、質の高い教育環境を整えるとともに、家庭や地域と連携し、子どもたちを育てることが出来る「地域とともにある学校」を目指した取り組みを進めます。

社会教育については、多様化する市民の学習ニーズ等に対応し、いつでもどこでも興味や必要に応じて学ぶことのできる生涯学習機会の充実を図ります。

§ 4. 美しく潤いのある自然やまちなみと人が共生するまち

関門海峡や長く美しい山陰海岸、緑豊かな山並み、ホタルの生息する清らかな河川、歴史あるまちなみなどの自然や景観の適切な保全と活用を図ります。

また環境への取り組みとして、再生可能エネルギーの導入活用など地球温暖化対策による低炭素社会の構築やごみの減量化・資源化などによる循環型社会の構築を目指します。 さらにそれらの取り組みを次世代に引き継いでいくために、環境教育環境学習を進めます。

潤いのある生活を確保するため、快適な環境の保全・整備や地域と調和した景観、豊かな住環境の形成を図ります。

§ 5. 効率的で活動しやすい都市機能を備えるまち

都市の魅力を高めるため、中心市街地から農山漁村に至る多様な地域特性を活かしながら、道路や公園、情報通信など快適で利便性の高い都市機能の強化を図る一方、各地域の適正な役割分担とそれらの連携による一体的で持続可能なまちづくりを推進します。人口減少下においても生活の質を維持・向上するため、都市機能の効率的な配置や集中を促進し、都市サービスの充実を図ります。

都市の利便性を高める広域道路網や幹線道路及び生活道路の整備、港湾機能の強化を図ります。鉄道、バス等の公共交通の利便性の向上を図るとともに、徒歩や自転車等の交通手段を組み合わせた総合的で持続可能な交通体系の構築を図ります。

§ 6. 誰もが安全で安心して暮らせるまち

東日本大震災や局地的な集中豪雨、台風などの相次ぐ自然災害により、安全・安心への関心が高まっており、これらへの備えを充実・強化することが急務となっています。ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策を図るとともに、自主防災組織など地域コミュニティの防災力の向上に取り組みます。

また、火災・事故・犯罪などの予防・対策のほか、救急体制や公衆衛生対策の充実・強化に取り組み、身近な生活安全の確保を図ります。

道路や橋梁等の交通基盤や公園・治山治水等の生活基盤などについては、総合的なマネジメントを推進し、維持すべき機能の適正化を図るとともに、今後も継続して利用できるよう長寿命化を進めます。また、日々の生活に欠かすことのできない上下水道等の快適で安定したライフラインを確保するため、耐震化及び老朽施設の更新・整備を図ります。

§ 7. 人と人とが支え合う誰もが健やかで笑顔があふれるまち

人と人とのつながりを大事にしみんなで支え合う、高齢者や障害者をはじめとするすべての市民が生きがいを持って健やかに暮らせる地域社会を構築します。

多様化、拡大化している福祉ニーズに対応するため、地域がつながり、支え合う仕組みを構築し、自助・共助・公助による福祉サービスの充実など、地域福祉の実現を目指します。 また、本格的な高齢社会を迎え、高齢者の重層的なセーフティネットの整備を推進し、地域包括ケアシステムの構築を図ります。

乳幼児から高齢者までそれぞれのライフステージに応じて、いのちに向き合い、いのちを考えることで生きる力を育む保健事業を進めます。

市民が安心して医療サービスを楽しむことができるよう関係機関と連携し、救急医療体制を核とした地域医療の充実に努めます。また、市立病院については、地域住民の多様なニーズに対応する医療機能の充実に努めます。

§ 8. 人のつながりを大切に、地域の力が活きるまち

本市の特徴や市民のニーズを踏まえ、市民と行政がお互いの役割を認識しながら様々な場面で協働し、地域の個性を活かした「住民自治によるまちづくり」の仕組みを構築します。

市民活動や自治会等による地域のコミュニティ活動を支援し、市民が主体のまちづくりを促進します。まちづくりを支える人材の育成、市職員のサポート体制の構築等を図ります。

市民が市政に積極的に参画できる多様な手段の活用などによる市民サービスの向上を図ります。また、厳しい財政状況を踏まえ、行財政の健全化を推進するとともに、市民の理解が深まり、信頼される行政経営を行います。

【別紙1;《R2～R4期》「地域ビジョン/将来像」別まちづくり活動計画】

§1.『魅力あふれる人・文化を育み、いきいきと交流するまち』へ！

教育文化部会

1)文化・スポーツの振興 2)地域の連携・交流の推進 3)地域の価値・魅力向上(PR/情報発信)

【主催】 §1-1 【事業名】勝山歴史事業		(単位:千円)			
【事業概要】	【目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度 3年間計
勝山御殿跡の歴史的価値啓発と地域づくり拠点の形成のための歴史文化イベントを開催する。(11月)	地域への誇りや愛着を持つ取り組みを進め心豊かな市民生活の充実を図る。また、魅力を高め、情報発信することにより、多くの人が行き交い、交流する拠点都市づくりを進める。(地域ビジョン説明資料 §1より)	補助金/交付金	624	700	700 2,024
		その他助成等	0	0	0 0
		『自主財源』	0	0	0 0
		総 額	624	700	700 2,024
		【提案Gp名】 教育文化部会PJチーム			

【主催】 §1-2 【事業名】文化財調査/説明板設置等		(単位:千円)			
【事業概要】	【目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度 3年間計
地域の遺跡等を調査し説明版を設置する。(5～2月)	地域への誇りや愛着を持つ取り組みを進め心豊かな市民生活の充実を図る。また、魅力を高め、情報発信することにより、多くの人が行き交い、交流する拠点都市づくりを進める。(地域ビジョン説明資料 §1より)	補助金/交付金	50	50	50 150
		その他助成等	0	0	0 0
		『自主財源』	0	0	0 0
		総 額	50	50	50 150
		【提案Gp名】 教育文化部会PJチーム			

【主催】 §1-3 【事業名】「よりーねしんしも」イベントの開催		(単位:千円)			
【事業概要】	【目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度 3年間計
新下関駅コンコースにおいて、「駅ピアノ」を活用した合唱会、夏祭り前夜祭の和太鼓演奏、パント演奏などのライブイベント(イス席100+立見50程度)を開催する。(5、7、10月)	市民による文化活動を進行することにより地域への誇りや愛着を高める。また、心豊かな時を過ごせる“場”をつくり都市の魅力を高める。 JR新下関駅との協働の強化。 「かつば夏まつり」の盛り上げ、応援。	補助金/交付金	145	145	145 435
		その他助成等	0	0	0 0
		『自主財源』	0	0	0 0
		総 額	145	145	145 435
		【提案Gp名】 教育文化部会PJチーム			

《第1章計》

【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
補助金/交付金	819	895	895	2,609
その他助成等	0	0	0	0
『自主財源』	0	0	0	0
総 額	819	895	895	2,609

§2.『多彩な人が輝き、活力ある産業が振興するまち』へ！

地域活性化部会

1)農林業の振興 2)商工業の振興

【主催】 §2-1 【事業名】体験交流農園「井田の里」開設・運営支援		(単位:千円)			
【事業概要】	【目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度 3年間計
勝山北部に位置する小野・井田地区の休耕田を活用し、市街地に住む人たちが休日レジャーとして家庭菜園を楽しみ、人と人とのふれあい交流を図る「体験交流農園」の開設と運営を支援する。Prj.展開構想/実践活動プランに基づき、R2年度は農園利用者を募り20区画をテスト開園し、農園管理運営の習熟訓練と改善を図るとともに、農園区画の拡大整備と農体験プログラムの新企画検討を行いR3年3月からの本格開園を目指す。(通年)	①休耕田等農地の有効活用の促進②農園管理/農作指導等への地元の有償ボランティア参加③農園利用/除草管理等による地域環境向上④農体験/食農教育プログラム等による農業への理解促進⑤里山/里地の身近な自然に親しみ、健やかさを求める暮らしづくり⑥市街地一農振地域の交流、多様な生活文化の溶合うまちづくり⑥ヘルシーランド下関等の利用活性化	補助金/交付金	300	220	220 740
		その他助成等	0	0	0 0
		『自主財源』	0	0	0 0
		総 額	300	220	220 740
		【提案Gp名】 地域活性化部会 『井田の里』運営支援PJチーム			

《第2章計》

【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
補助金/交付金	300	220	220	740
その他助成等	0	0	0	0
『自主財源』	0	0	0	0
総 額	300	220	220	740

§ 3.『みんながともに学び、ともに楽しむ、人を育てるまち』へ！

教育文化部会

1) 子ども・子育て支援 2) 一人ひとりの生きる力の育成 3) 学校教育の充実 4) 生涯を通じた学ぶ機会の拡充 5) 人権啓発活動の参加拡大

【主催】 § 3-1 【事業名】勝山歴史絵本づくり

【事業概要】	【目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
地域の歴史文化研究の一環として、勝山に伝わる昔話やわらべ歌の調査を行い、子どもたちと一緒に絵本やDVDを制作し、市内小学校や図書館に配付するなど周知を図る。	地域の文化を学ぶことにより、子どもたちの豊かな心を養う(§ 3)とともに、地域への誇りや愛着をはぐくむ(§ 1)。	補助金/交付金	0	200	200	400
		その他助成等	0	0	0	0
		『自主財源』	0	0	0	0
		総 額	0	200	200	400
		【提案Gp名】 教育文化部会PJチーム				

《第3章計》

【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
補助金/交付金	0	200	200	400
その他助成等	0	0	0	0
『自主財源』	0	0	0	0
総 額	0	200	200	400

§ 4.『美しく潤いのある自然やまちなみと人が共生するまち』へ！

居住環境部会

1) 自然環境の復元保全 2) 良好な景観の形成 3) 廃棄物処理の推進 4) 良好な住環境の創造保全

【主催】 § 4-1 【事業名】花いっぱい運動の展開

(単位:千円)

【事業概要】	【目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
植栽時期に応じたまちの花の選定や自治会を通じた栽培を促進する。(6~10月)	潤いのある生活を確保するため、快適な環境の保全・整備や地域と調和した景観、豊かな住環境の形成を図る。	補助金/交付金	329	350	350	1,029
		その他助成等	0	0	0	0
		『自主財源』	0	0	0	0
		総 額	329	350	350	1,029
		【提案Gp名】 居住環境部会				

《第4章計》

【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
補助金/交付金	329	350	350	1,029
その他助成等	0	0	0	0
『自主財源』	0	0	0	0
総 額	329	350	350	1,029

§ 5.『効率的で活動しやすい都市機能を備えるまち』へ！

地域活性化部会

1) 地域特性を活かす市街地整備を 2) 地域の公共交通を 3) 地域の道路・公園・緑地を 4) 地域情報システム を考える

【共催】 § 5-1 【事業名】高齢化社会の交通問題等勉強会

【事業概要】	【目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
市の協力を得ながら、都市計画を始め立地適正化計画や地域公共交通再編実施計画等まちづくりに係る諸計画を勉強する。	高齢化社会における自家用車に頼らない医療・福祉施設、商業施設などへの公共/コミュニティ交通のあり方等を考える。	補助金/交付金	0	10	10	20
		その他助成等	0	0	0	0
		『自主財源』	0	0	0	0
		総 額	0	10	10	20
		【提案Gp名】 まちづくり協議会PJチーム				

《第5章計》

【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
補助金/交付金	0	10	10	20
その他助成等	0	0	0	0
『自主財源』	0	0	0	0
総 額	0	10	10	20

§ 6.『誰もが安全で安心して暮らせるまち』へ！

安全安心部会

1) 生活安全の推進 2) 公衆衛生の充実

【主催】 § 6-1		【事業名】地域防犯対策				
【事業概要】 自転車の盗難防止に向けた研究や啓発活動を実施する。（通年）	【目的/趣旨】 火災・事故・犯罪などの予防・対策に取り組む身近な生活安全の確保を図る。	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
		補助金/交付金	60	200	60	320
		その他助成等	0	0	0	0
		『自主財源』	0	0	0	0
		総 額	60	200	60	320
		【提案Gp名】 安全安心部会				

【主催】 § 6-2		【事業名】地域防災対策				
【事業概要】 防災訓練を実施しその成果をリーフレット等に纏めて周知を図り地域の防災意識を高める。(9月)	【目的/趣旨】 災害対策に取り組み身近な生活安全の確保を図る。	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
		補助金/交付金	279	280	300	859
		その他助成等	0	0	0	0
		『自主財源』	0	0	0	0
		総 額	279	280	300	859
		【提案Gp名】 安全安心部会				

《第6章計》

【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
補助金/交付金	339	480	360	1,179
その他助成等	0	0	0	0
『自主財源』	0	0	0	0
総 額	339	480	360	1,179

§ 7.『人と人とが支え合う 誰もが健やかで笑顔があふれるまち』へ！)

健康福祉部会

1) 保健・医療の充実 2) 地域福祉の充実

【主催】 § 7-1		【事業名】健康フェスタの開催		(単位:千円)				
【事業概要】		【目的/趣旨】		【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
地域の多世代が参加する健康イベントや健康講座を実施する。(9、11月)		地域みんなで支え合い、乳幼児から高齢者までそれぞれのライフステージに応じ健やかに暮らせる地域社会づくりを進める。		補助金/交付金	190	190	190	570
				その他助成等	0	0	0	0
				『自主財源』	0	0	0	0
				総 額	190	190	190	570
				【提案Gp名】 健康福祉部会				

《第7章計》

【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
補助金/交付金	190	190	190	570
その他助成等	0	0	0	0
『自主財源』	0	0	0	0
総 額	190	190	190	570

§ 8. 『人のつながりを大切に、地域の力が活きるまち』へ！

協議会全体

1) 住民主体/民間主導のまちづくりの推進 2) 市民協働参画の推進 3) 市民活動支援システムの活用と研究

【主催】 § 8-1 【事業名】まちづくり活動3ヶ年計画の度改定

【事業概要】	【目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
この計画は、当協議会がR2～4年度にに取組む具体的事業/施策等を地域ビジョン(部会)別に体系的に整理し明らかにしている。決算見込みを踏まえ予算編成の過程において毎年改訂するローリング計画を採用している。(3月)	運営委員会等が各事業/施策等をその理念/目標に照らしその効果や効率性を検証・見直す事業精査を行うマネジメントツールとして役立てる。	補助金/交付金	100	100	100	300
		その他助成等	0	0	0	0
		『自主財源』	0	0	0	0
		総 額	100	100	100	300
		【提案Gp名】 事務局/特命PJチーム(外部委託)				

【主催】 § 8-2 【事業名】広報・コミュニケーション

【事業概要】	【目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
広報紙「協議会だより」発行(2回/年)とホームページ運用(通年)	情報の共有化を図り、地域住民のまちづくり活動への参加を促進する。	補助金/交付金	100	100	100	300
		その他助成等	0	0	0	0
		『自主財源』	0	0	0	0
		総 額	100	100	100	300
		【提案Gp名】 広報委員会PJチーム				

【主催】 § 8-3 【事業名】各部会運営事務経費等

【事業概要】	【事業目的/趣旨】	【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
事業等の企画立案・進行管理、事業予算要求・執行管理等の検討・協議などに係る経費(随時)	各部会の円滑な運営等を図り、「住民自治のまちづくり」活動を支援する。	補助金/交付金	100	100	100	300
		その他助成等	0	0	0	0
		『自主財源』	1	1	1	3
		総 額	101	101	101	303
		【提案Gp名】 活性化部会PJチーム				

《第8章計》

【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
補助金/交付金	300	300	300	900
その他助成等	0	0	0	0
『自主財源』	1	1	1	3
総 額	301	301	301	903

《第1～8章計》

【事業費】	R2年度	R3年度	R4年度	3年間計
総 額	2,278	2,646	2,526	7,450

勝山地区まちづくり協議会
【別紙2;《R2～R4期》まちづくり活動中期財政見通し】

1 収入の部

[単位:千円]

財源区分		R2年度 金 額	R3年度 金 額	R4年度 金 額	3年間計
行政補助	(1)まちづくり活動支援	2,177	2,535	2,415	7,127
	(2)協議会運営	1,183	825	945	2,953
	(3)計画策定	100	100	100	300
	(4)協議会設立	0	0	0	0
	(5)その他	0	0	0	0
	(小 計)	3,460	3,460	3,460	10,380
自主財源	(1)参加負担金等	0	0	0	0
	(2)協賛広告料等	0	0	0	0
	(3)物販/業務受託等	0	0	0	0
	(5)その他	1	1	1	3
	(小 計)	1	1	1	3
財 源 合 計		3,461	3,461	3,461	10,383

※行政補助の小計額は、令和2年度ベースの額である。

2 支出の部

[単位:千円]

経費区分		R2年度 金 額	R3年度 金 額	R4年度 金 額	3年間計
活動経費	§ 1『魅力あふれる人・文化を…』	819	895	895	2,609
	§ 2『人が輝き、活力ある産業…』	300	220	220	740
	§ 3『学び、楽しみ、人を育てる…』	0	200	200	400
	§ 4『…自然と人が共生する…』	329	350	350	1,029
	§ 5『…都市機能を備える…』	0	10	10	20
	§ 6『安全で安心して暮らせる…』	339	480	360	1,179
	§ 7『…誰もが健やかで…』	190	190	190	570
	§ 8『…地域の力が活きる…』	301	301	301	903
	(小 計)	2,278	2,646	2,526	7,450
運営経費	(1)事務所費	180	140	140	460
	(2)備品・設備費	0	0	0	0
	(3)人件費・旅費事務費	750	630	750	2,130
	(4)事務費	249	45	45	339
	(5)委託料	0	0	0	0
	(6)負担金	0	0	0	0
	(7)その他	4	0	0	4
	(小 計)	1,183	815	935	2,933
経 費 合 計		3,461	3,461	3,461	10,383

※R3年度以降は、部会の要望段階の額である。

【平成31/令和元年度】

個別事業計画 **報告** 総括シート

【新下関/勝山の未来ビジョン:『暮らしの幸せ』を実感できる・住みたい魅力のあるまち】

《勝山まちづくり活動の展開方向(分野)》 ※該当項目に○印を。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 魅力あふれる人・文化を育み、いきいきと交流するまち | 5. 効率的で活動しやすい都市機能を備えるまち |
| ② 多彩な人が輝き、活力ある産業が振興するまち | 6. 誰もが安全で安心して暮らせるまち |
| 3. みんながともに学び、ともに楽しむ、人を育てるまち | 7. 人と人が支え合う 誰もが健やかで笑顔があふれるまち |
| 4. 美しく潤いのある自然やまちなみと人が共生するまち | ⑧ 人のつながりを大切にし、地域の力が活きるまち |

※ 勝山の公益増進を図る住民自らの主体的なまちづくりの取組みについて提案してください！

【事業/施策名】	【活動/提案Gp名/構成員数】
体験交流農園「井田の里」開設/運営支援事業	体験交流農園「井田の里」開設・運営支援Prj.チーム (7人)
	【代表者(部会長)名/連絡先】
	Prj.長: 山尾 末明 (☎)

【連携/協働まちづくり団体名等】JA勝山支所、ヘルシーランド下関、井田環境を守る会、勝山のあすをつくる会

【事業概要】	【事業目的/趣旨】
勝山北部に位置する小野・井田地区の休耕田を活用し、市街地に住む人たちが休日レジャーとして家庭菜園を楽しみ、人と人とのふれあい交流を図る「市民農園」の開設と運営を支援する。 「農園方式」により、①農園開設者ー地権者②管理運営代行ーまちづくり協議会③「市民農園ガイド」に沿った農地利用④管理運営業務への地元/利用者の有償参加を基本原則として展開構想/実践活動プランを作成し管理運営していく。	～上記《活動の方向》「2」、「8」を目指して～ ①休耕田等農地の有効活用の促進 ②農園管理/農作指導等の地元のボランティア活動の有償化 ③農園利用/除草管理等による農業振興地域の環境向上 ④農体験/食農教育プログラム等の展開により農業の理解を深める ⑤里山/里地の身近な自然に親しみ、健やかさを求める暮らしづくり ⑥市街地ー農振地域の交流、多様な生活文化の溶合うまちづくり ⑥ヘルシーランド下関等の利用活性化

【事業規模/予算総額】 (単位:千円)

事業年度	事業費総額	(うち:行政 の補助金)	(その他財 源等)	(『活動事業交付金』 交付希望)
R1年度	560	560		(有・無)
R2年度	220	300		(有・無)
R3年度	300	300		(有・無)

(『別途財源等』について)

R1:JA勝山支所の農具寄付

R2:500円/月×8月(7月～2月)×20人見込

R3:500円/月×12月(3月～2月)×30人見込

(※金額の詳細については別途お問い合わせください)

【まちづくり活動の内容】

初年度	第2・3年度
(1)活動内容/プログラム 1)市民農園開設関連の申請届出等 2)必須設備の設置、用具等の調達準備 3)農地整備/除草管理 4)農体験学習(植付/収穫)テスト実施 5)農園用地測量/土地利用設計 6)利用者募集活動 7)展開構想/実践活動プラン作成 ①「農園方式」運営の基本原則 ②名称:体験交流農園「井田の里」 ③Prj.推進体制ー責任分担と連携 ④毎年改定のPrj.展開3ヶ年計画 ⑤「特別会計(原資:利用料金)」設置	(1)活動内容/プログラム 1)R2年度:「ファミリー農園ゾーン」20区画でテスト開園 ・農業指導(植付・農地管理等2回/年以上、 他、利用者のFAX/メール等の申込みにより随時実施) ・収穫祭(春/6月、秋/10月、2回/年以上ー交流イベントとして実施) ・除草管理(4回/年実施) ・農具、休憩設備等の拡充 2)R3年度～:利用申込み状況により区画拡大(約50まで可)して開園 (2)場所/活動範囲 左記に同じ (3)活動頻度/日時 別紙、活動展開スケジュールのとおり
(2)場所/活動範囲 下関市大字井田字中の坪201番(募集チラシ裏面案内図参照！) (農園面積:約700坪/23アール)	
(3)活動頻度/日時 随時(活動スタッフ等の動員状況による)	

(4)取組み体制/組織	(6)PR/広報活動
「体験交流農園『井田の里』開設運営支援Prj.体制図」のとおり 農園管理/農作指導等に参加するボランティア等の組織化(「結の会」結成) 「もやい事業」にも参加する	「井田の里」利用者募集をまちづくり協議会HPに掲載しチラシ配布を行いPRする。また、収穫祭(2回/年)開催案内もHPで行う。
(5)自主財源(寄付/広告協賛金など) ・JA勝山支所の農具寄付	(7)その他検討課題など ※活動スタッフの増員募集！ ※COVID19の影響による事業の遅れ？

「ゆい」:結いー農作業などで共同労働を行う間柄 「もやい」:催合ー複数の人間が共同して作業や事業を行うこと

事業名: 体験交流農園「井田の里」開設・運営支援事業(Prj.)

【H31・R1年度】 事業経費内訳 / 精算書(見込)

1 活動事業

経費区分	予算額	支出済額	財源内訳		詳細
			交付金	その他	
1 賃金	0	0	0	0	
2 報償費	0	0	0	0	
3 旅費	0	0	0	0	
4 消耗品費	80,000	96,095	96,095	0	ポンプ、給水タンク、境界杭
5 燃料費	0	0	0	0	
6 食糧費	0	0	0	0	
7 印刷製本費	10,000	7,981	7,981	0	作業時飲料
8 光熱水費	0	2,080	2,080	0	資料印刷代
9 修繕料	0	0	0	0	
10 通信運搬費	0	0	0	0	
11 手数料	0	1,560	1,560	0	申請手続き手数料
12 保険料	0	0	0	0	
13 委託料	70,000	92,550	92,550	0	区画設計、看板製作、耕運作業
14 使用/賃借料	60,000	0	0	0	
15 工事請負費	0	0	0	0	
16 原材料費	0	0	0	0	
17 備品購入費	300,000	360,000	360,000	0	農機具用倉庫
18 負担金	0	0	0	0	
合 計	520,000	560,266	560,266	0	

(※金額の詳細については別途お問い合わせください)

2 運営事業

経費区分	予算額	支出済額	財源内訳		詳細
			交付金	その他	
1 賃金	0	0	0	0	
2 報償費	0	0	0	0	
3 旅費	0	0	0	0	
4 消耗品費	0	0	0	0	
5 燃料費	0	0	0	0	
6 食糧費	0	0	0	0	
7 印刷製本費	0	0	0	0	
8 光熱水費	0	0	0	0	
9 修繕料	0	0	0	0	
10 通信運搬費	0	0	0	0	
11 手数料	0	0	0	0	
12 保険料	0	0	0	0	
13 委託料	0	0	0	0	
14 使用料・賃借料	0	0	0	0	
15 原材料費	0	0	0	0	
16 備品購入費	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	

(※金額の詳細については別途お問い合わせください)

【令和2年度】

勝山地区まちづくり活動「施策」等調査(提案票)(シート)

【新下関/勝山の未来ビジョン:『暮らしの幸せ』を実感できる・住みたい魅力のあるまち】

《勝山まちづくり活動の展開方向(分野)》 ※該当項目に○印を。

1. 魅力あふれる人・文化を育み、いきいきと交流するまち	5. 効率的で活動しやすい都市機能を備えるまち
2. 多彩な人が輝き、活力ある産業が振興するまち	6. 誰もが安全で安心して暮らせるまち
3. みんながともに学び、ともに楽しむ、人を育てるまち	7. 人と人との支え合う誰もが健やかで笑顔があふれるまち
4. 美しく潤いのある自然やまちなみと人が共生するまち	8. 人のつながりを大切に、地域の力が活きるまち

※ 勝山の公益増進を図る住民自らの主体的なまちづくりの取組みについて提案してください！

【事業/施策名】	【活動/提案Gp名/構成員数】
体験交流農園『井田の里』開設・運営支援Prj.	体験交流農園『井田の里』開設・運営支援Prj.チーム (7人)
	【代表者(部会長)名/連絡先】
	Pjt長: 山尾 末明 (☎)

【連携/協働まちづくり団体名等】JA勝山支所、ヘルシーランド下関、井田環境を守る会、勝山のあすをつくる会

【事業概要】	【事業目的/趣旨】
勝山北部に位置する小野・井田地区の休耕田を活用し、市街地に住む人たちも休日レジャーとして家庭菜園を楽しみ、人と人とのふれあい交流を図る「体験交流農園」の開設と運営を支援する。 体験交流農園『井田の里』運営支援Prj.展開構想/実践活動プランに基づき、R2年度は農園利用者を募り4月29日(?)から20区画をテスト開園する。約11か月間にわたり農園管理運営の習熟訓練と改善を図るとともに、利用ニーズに応じ農園区画の拡大整備と体験学習プログラムの新企画検討を行いながら、R3年3月からの本格開園を目指す。	～上記《活動の方向》「2」、「8」を目指して～ ①休耕田等農地の有効活用の促進 ②農園管理/農作指導等の地元のボランティア活動の有償化 ③農園利用/除草管理等による農業振興地域の環境向上 ④農体験/食農教育プログラム等の展開により農業の理解を深める ⑤里山/里地の身近な自然に親しみ、健やかさを求める暮らしづくり ⑥市街地一農振地域の交流、多様な生活文化の溶合うまちづくり ⑥ヘルシーランド下関等の利用活性化

【事業規模/予算総額】 (単位:千円)

事業年度	事業費総額	(うち:行政の補助金等)	(その他:寄付金等)	(『活動事業交付金』交付希望)
R2年度	300	300		(有・無)
R3年度	220	220		(有・無)
R4年度	220	220		(有・無)

(『別途財源等』について)

R2: 500円/月×8月(7月～2月)×20人見込

R3: 500円/月×12月(3月～2月)×30人見込

R4: 500円/月×12月(3月～2月)×40人見込

(※金額の詳細については別途お問い合わせください)

【まちづくり活動の内容】

初年度 (1)活動内容/プログラム 1)利用者募集(HP/チラシ配布 3～5月) 7)R3年期(3～2月)本格開園準備 2)利用者説明会・契約 ①農園区画拡大整備 3)収穫祭(6/7ー開園、秋/10月予定) ②利用者募集(12～2月)活動 (ふれあい交流イベントとして実施) ③利用者説明会・契約(区画変更?) 4)農体験学習会(2回/年以上) ④開園イベント 5)農作指導(申込みにより随時) ⑤体験学習プログラムの新企画 6)除草管理/理園地整備(4回/年実施予定) (2)場所/活動範囲 下関市大字井田字中の坪201番(募集チラシ裏面案内図参照!) (農園面積:約700坪/23アール) (3)活動頻度/日時 随時(活動スタッフ等の動員状況による)	第2・3年度 (1)活動内容/プログラム R3年度～:利用申込み状況により50区画程度まで拡大運営 (2023年3月末での形山地区の「ふれあい農園」の廃止による利用者増の期待) (前年H31/R1年度:「農園方式」により①農園開設者一地主者②管理運営代行ーまちづくり協議会③「市民農園ガイド」に沿った農地利用④管理運営業務への地元/利用者の有償参加を基本原則とする、ファミリー農園『井田の里』の展開構想/実践活動プランを作成した) (2)場所/活動範囲 左記に同じ (3)活動頻度/日時 別紙、活動展開スケジュールのとおり
--	---

(4)取組み体制/組織 ・体験交流農園『井田の里』開設・運営支援Prj.体制図のとおり ・農園管理/農作指導等に参加する有償ボランティア等組織(「結の会」?)の運営補助 ・利用者友の会(「もやいの会」?)結成の働きかけ (5)自主財源(寄付/広告協賛金など) ・農園利用料金等	(6)PR/広報活動 「井田の里だより」をまちづくり協議会HPに掲載し、農体験学習イベントや利用者の募集などの状発信を行う。 (7)その他検討課題など ※1:活動スタッフの増員募集! ※2:駐車場等に利用できる近くの雑種地の借用? ※3:COVID19の影響による事業の遅れ?
---	---

「ゆい」:結い-農作業などで共同労働を行う間柄 「もやい」:催合-複数の人間が共同して作業や事業を行うこと

事業名:体験交流農園「井田の里」開設・運営支援事業(Prj.)

【令和2年度】事業経費内訳／見積書

活動部会/提案Gp名:「井田の里」開設運営支援Prj.チーム(7人)

1 活動事業

[単位:円]

経費区分	予算額	財源内訳		詳細
		交付金	その他	
1 賃金	0	0	0	
2 報償費	0	0	0	
3 旅費	0	0	0	
4 消耗品費	20,000	20,000	0	イベント費用
5 燃料費	0	0	0	
6 食糧費	10,000	10,000	0	イベント費用
7 印刷製本費	230,000	230,000	0	資料印刷費、『井田の里』だより発行、利用者募集チラシ
8 光熱水費	0	0	0	
9 修繕料	0	0	0	
10 通信運搬費	0	0	0	
11 手数料	0	0	0	
12 保険料	0	0	0	
13 委託料	30,000	30,000	0	R3年区画整備費(トラクター/草刈り作業別)
14 使用/賃借料	10,000	10,000	0	会議室使用料(トイレレンタル料別)
15 工事請負費	0	0	0	
16 原材料費	0	0	0	
17 備品購入費	0	0	0	
18 負担金		0	0	
合 計	300,000	300,000	0	

(※金額の詳細については別途お問い合わせください)

2 運営事業

[単位:円]

経費区分	予算額	財源内訳		詳細
		交付金	その他	
1 賃金	0	0	0	
2 報償費	0	0	0	
3 旅費	0	0	0	
4 消耗品費	0	0	0	
5 燃料費	0	0	0	
6 食糧費	0	0	0	
7 印刷製本費	0	0	0	
8 光熱水費	0	0	0	
9 修繕料	0	0	0	
10 通信運搬費	0	0	0	
11 手数料	0	0	0	
12 保険料	0	0	0	
13 委託料	0	0	0	
14 使用料・賃借料	0	0	0	
15 原材料費	0	0	0	
16 備品購入費	0	0	0	
合 計	0	0	0	

【別紙7】

【体験交流農園「井田の里」開設運営支援事業(Prj.)体制図】

「井田の里」開設・運営支援 Prj.チーム

(チーフ Ya さん 7 名 他)

《活動方向 § 2.》多彩な人が輝き、活力ある産業が振興するまちへ！

《活動方向 § 8.》人のつながりを大切にし、地域の力が活きるまちへ！

《ポイント》

①遊休農地/耕作放棄地等の有効活用促進

②農園管理/農作指導等の地元のボランティア活動の有償化

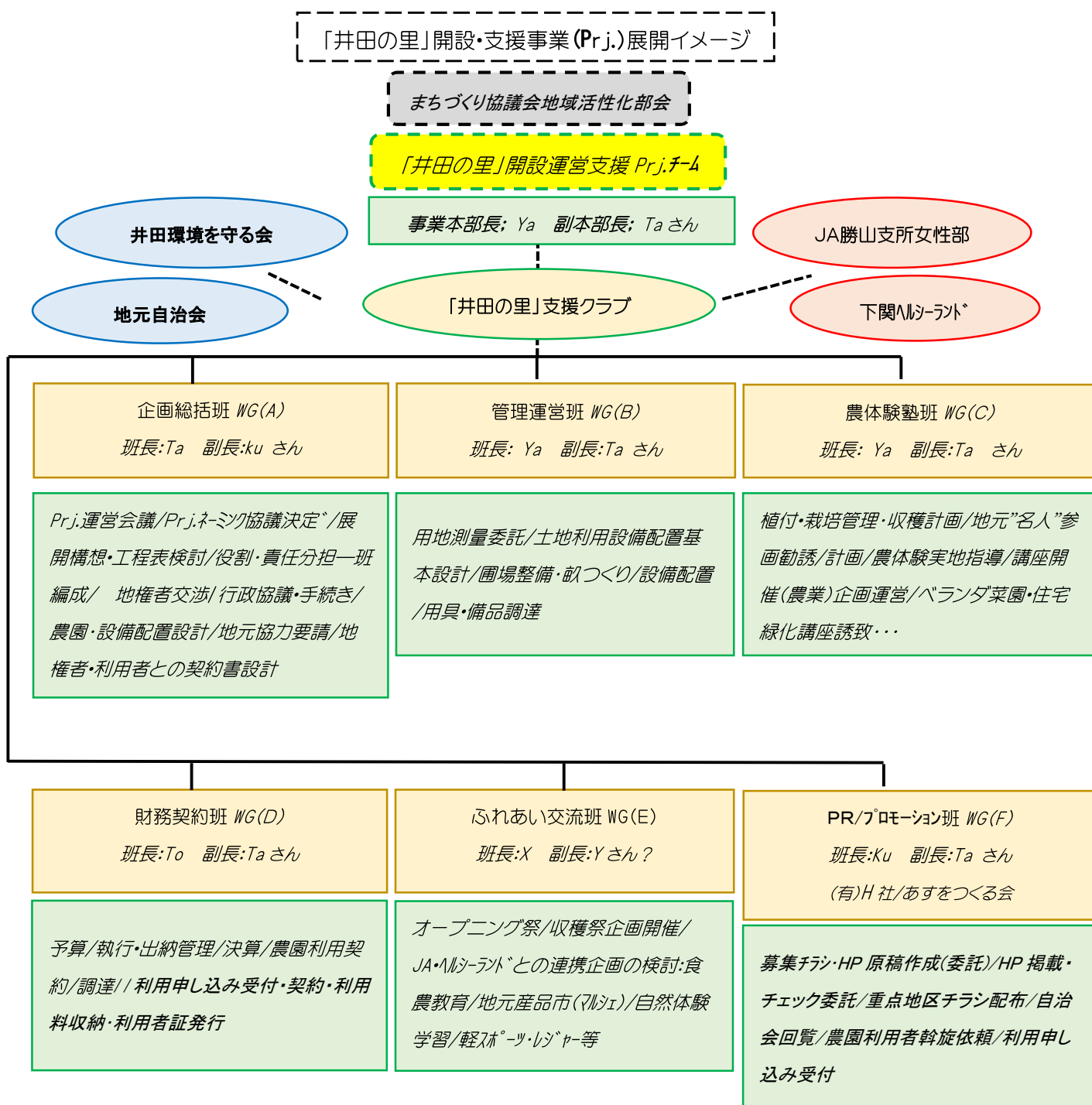
③農園利用/除草管理等による農業振興地域の環境向上

④農体験/食農教育プログラム等の展開により農業の理解を深める

⑤里山/里地の身近な自然に親しみ、健やかさを求める暮らしづくり

⑥市街地一農振地域の交流、多様な生活文化の溶合うまちづくり

⑦ヘルシールート下関等の利用活性化



【別紙8】A班；R2/R3「井田の里」運営支援Prj. 総括工程表（1）

2020												
任務テーマ；	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
（『井田の里』テスト開園）				4/29●	6/7●							
テスト利用者募集												
申込受付/説明会案内発送												
F班:（利用者募集ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ）												
HP・ﾌﾗｸﾞ配布募集												
問い合わせ対応(FAX・メール)												
C班:（体験学習Z植付・収穫等）												
馬鈴薯(じゃが芋)												
甘蔗(さつま芋)												
トマト												
大根												
B班:（農園管理/整備）												
F農園Z荒起し/区画割												
F農園Z境界道造り/畝造り/杭打ち												
除草管理等												
E班:（交流ｲﾍﾞﾝﾄ）												
収穫祭												
その他ｲﾍﾞﾝﾄ？												
『農園利用/ｲﾍﾞﾝﾄ開催ｽﾅﾞｰﾙ』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

A班；R2/R3「井田の里」運営支援Prj. 総括工程表表（2）

2021												
1	2	3	任務テーマ；	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			通常農園利用契約									
			通常利用者募集/契約更新確認									
			利用者説明会/利用契約									
			通常利用申込(契約更新)受付									
			F班:（利用者募集ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ）									
			HP・ﾌﾗｸﾞ配布募集									
			問い合わせ対応(FAX・メール)									
			C班:（体験学習Z植付・収穫等）									
			馬鈴薯(じゃが芋)									
			甘蔗(さつま芋)									
			トマト									
			大根									
			B班:（農園管理/整備）									
			F農園Zの区画割/整備									
			除草管理									
			E班:（交流ｲﾍﾞﾝﾄ）									
			収穫祭									
			その他ｲﾍﾞﾝﾄ？									
1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12

勝山地区まちづくり協議会

ホームページ <https://katsuyamachikuinto.wixsite.com/katsuyama>

メールアドレス katsumachi@theia.ocn.ne.jp

【協議会 概要】



●設立年月日 平成28年12月15日

●事務所 〒751-0872 下関市秋根南町二丁目4番33号 勝山公民館内

☎/📠 : 083-250-7522

●地域の状況 (人口) 25,014人 (世帯数) 12,283世帯

(H30.10.1現在)

(中学校区) 勝山中学校 (面積) 21.94 k m²

●設置部会 地域活性化部会、教育文化部会、健康福祉部会、居住環境部会、安全安心部会

●活動の概要

- ・広報紙発行
- ・歴史文化研究と継承（絵本制作、郷土史研修）
- ・地域の防犯、防災対策
- ・地域活性化対策
- ・健康フェスタ
- ・美化運動（花いっぱい活動、カラス被害撲滅活動）ほか

事例No.1 : 勝山歴史事業及び昔話絵本の制作・配布

活動のきっかけ

明治維新150年を記念した事業への取組みと勝山御殿跡が国の史跡に指定されることから、記念イベントを行ってはどうかという意見が出たのをきっかけにして、市教育委員会とも連携しながら、勝山御殿跡を多くの人に知ってもらおうと企画しました。



活動内容

11月24日 勝山公民館にて国史跡指定のセレモニーを経て、公募又は各自治会や中学校の生徒による仮装行列行進を勝山御殿跡まで行い、現地では、ふく鍋の振る舞いや餅まきを行いました。

11月25日 歴史ウォークラリーとして、市文化財保護課の学芸員の説明を聞きながら史跡巡りを行いました。

この事業に関連する形で、勝山小・一の宮小児童による昔話絵本「勝山御殿物語」を制作し、関係方面への配布やイベントでの展示等を通じて勝山御殿の史実の啓発に活用しました。



活動の成果

より多くの人に勝山御殿の魅力や勝山の歴史について関心を持ってもらえるようになったと思います。勝山御殿跡には国史跡指定の横断幕を掲げました。今後は、他県の方々にも来てもらえるように、勝山御殿跡周辺の整備にも取り組みたいと考えます。

事例No.2 : 健康フェスタ開催

活動のきっかけ

『地域の皆さんと一緒に健康について考えよう』と声かけを行ったところ、保健所・医師会・企業の賛同があり、フェスタを開催することとなりました。

活動内容

血液チェック、ストレスチェック、身体のゆがみチェック、認知症早期発見チェック、人と人とのつながりチェック、環境に優しいガス、保険相談、食育相談、非常食展示、みんなでゲーム、マジック・オカリナなどのショー、幼稚園・保育園児の絵展示 等

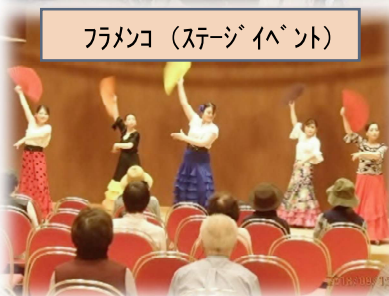
ごみ分別ゲーム



ちびっこアーティスト絵画展



フラメンコ（ステージイベント）



食・食育



活動の成果と今後の展開

勝山地区の多くの方の参加があり、健康について関心を持ってもらえたと思います。今後も、地区の方々と一緒に健康について学んでいくための声かけを続けていきたいと考えます。

か つどうで つ なぐ や さしい ま ちづくり



KATSUYAMA

勝山地区まちづくり協議会

事 務 局

まちづくりに関するご意見、ご提案などをお聞かせください。

下関市秋根南町二丁目4番33号 勝山公民館 1階作業室

電話・FAX : 083-250-7522

e-mail : katsumachi@theia.ocn.ne.jp

<https://katsuyamachikuinfo.wixsite.com/katsuyama>

